決議案第１号

「持続可能都市つくば」の実現のために、つくば市議会としてより積極的な議会活動を行うことを宣言する決議

上記の決議案を次のとおり提出します。

令和２年３月19日

提出者　総務委員長　小　野　泰　宏

「持続可能都市つくば」の実現のために、つくば市議会として
より積極的な議会活動を行うことを宣言する決議

つくば市では、2015 年度にまちづくり百年の計の思想に基づき、研究学園都市のこれまでの 50 年の歩みを踏まえ、今後の 50 年のまちづくりの指針とするために、つくば市未来構想を策定した。

しかし、その後、つくば市を取り巻く状況は大きく変わり、現在は、大規模な変革の時代を迎えている。こうした時代に的確に対応していくためには、社会・経済・環境の調和をとりながら、総花的ではなく、地域の強みをいかし、社会構造の変化や時代のニーズに適切に対応した戦略的な取組が必要である。

こうしたことから、このほどつくば市は、諸課題を克服しながら次の世代につくばの持つ多様な資産を継承・発展させていく「持続可能都市」を目指し、つくば市未来構想の改定を行った。

今回の未来構想の改定に当たり、市民の声を反映するために実施した各種のアンケートでは、老後の生活や日々の生活環境の悪化、自分や家族の健康状況の悪化、自然災害などの発生など、将来に対する様々な不安の声が数多く寄せられた。このことは、現在、人口増が続くつくば市においても、多くのつくば市民の切実な声として、真摯に捉えていかなければならない。

2018 年２月につくば市が発表した「持続可能都市ヴィジョン」にあるように、市民、行政、議会、地域団体、大学・研究機関、企業などが協力して持続可能な取組を進め、誰一人取り残さない安心のまちづくりを進めていくことが何よりも重要である。

以上のことから、つくば市議会は、今後、「持続可能都市つくば」の実現のために、多様な市民の声をより把握して、議員同士が闊達な討議を通し、未来構想の理念に基づく多くの取組の推進を的確に捉えながら、市民の負託に応えるため、より積極的な議会活動を行うものである。

以上、決議する。

令和２年３月 19 日

つくば市議会